

トピックス



三陸鉄道株式会社スタート

久慈・宮古・盛の三線と、未開通部分を含めて鉄道運営に当たる「三陸鉄道株式会社」の創立総会が、11月4日盛岡市で開かれた。

創立総会には発起人となった沿線市町村長など、58の出資団体の代表者が出席。中村知事を議長にして会社設立上の事項について審議、原案どおり可決した。

釜石駅を目前にして工事が中断している部分など、来年早々にも工事が再開されることになり、59年春の開業を目指し、10日には事務所開きも行われた。



▲ 工事再開の見通しが立った盛線（釜石駅付近）



▲ 11月10日県庁内に事務所を設置



▲ 創立総会には58の出資団体全員が出席した

25歳になった県企業局

3つのお祝いを同時に実施

水力発電や有料道路、工業用水道事業を運営している県企業局は、発足して今年25年。11月4日200人が出席し盛岡市で記念式典を開いた。

昭和32年の胆沢第二発電所の運転から、今年1月完成した御所発電所まで6つの水力発電所をもつ。有料道路は4路線、工業用水道も2カ所で運営している。この日は、御所発電所と北上第二中部工業用水道の完工式も併せて行った。



青年の船に354人

洋上セミナーの事前研修を実施

青年の船が、来年1月出航する。2回目の「明日の岩手を築く洋上セミナー」の参加者を集めて11月13日から3日間国立岩手山青年の家で事前研修会を開いた。今年の参加者は男子232人、女子119人の合わせて351人。

1月14日宮古港を出航し、沖縄、フィリピン、香港を回る16日間の船旅。旅行中の心構えや船内での役割などをみっちり学んでいた。

網取ダムで貯水始まる

試験を繰り返し58年度から始動

盛岡市の中津川上流に建設中の網取ダムが、11月4日から試験貯水始めた。

同ダムは、49年に総工費160億円で着工され、洪水調節や上水道として利用される多目的ダム。総貯水量1500万トンは、胆沢町の石渕ダムに匹敵する。来年1月には常時満水位（標高194.5m）にし、ダムの安全性や運転施設などを点検、各種の試験を繰り返しながら、58年4月本格的に運転する。

